

農業生産現場の課題をものづくり技術で解決へ ～京都フードテック研究連絡会議フォーラムを8月31日に開催～

- 京都フードテック研究連絡会議（事務局：京都府）では、農業生産現場の課題を京都府、企業、大学及び研究機関が連携した技術開発により解決することを目指し、京都 JA ビル（南区）でフォーラムを開催します。
- 技術開発事例の紹介やマッチング等を行いますので、当日の取材をお願いします。

1 日 時

令和8年8月31日（月） 14:00～16:30

2 場 所

京都 JA ビル 地下2階201・202会議室
（京都市南区東九条西山王町1）

3 内 容

（1）事例紹介

府内生産現場の課題に対して、現在、ものづくりの視点から取り組んでいる技術開発の事例2件を紹介。

- ・植物残渣^{ざんさ}回収装置の開発（NKE 株式会社）
- ・京地どり事前出荷選別システムのための体重推定 AI の開発（公益財団法人京都高度技術研究所）

（2）話題提供

事前に募集した話題提供者が、これから技術開発を希望する府内生産現場の課題やニーズについて説明。

- ・覆い下茶の栽培における省力的な被覆技術及び被覆資材（農林センター宇治茶部）
- ・ファームpond利用団地における灌水可能量のモニタリング及び配分システム（丹後農業改良普及センター） など

（3）交流会

第2部に登壇する話題提供者と参加者のマッチングを実施。

4 参 加 者

京都フードテック研究連絡会議の会員

5 主 催

京都フードテック研究連絡会議（事務局：京都府内農林水産技術センター）

<参考：「京都フードテック研究連絡会議」とは>

令和5年3月に策定した「京都フードテック基本構想」に基づき、世界に誇る京都の食文化や高い栽培技術、最先端技術を融合した「京都ならではのフードテック」に関する研究開発に取り組むため設立した、産学公連携の研究プラットフォーム（215 機関 369 名が登録。（令和8年8月時点））。

京都フードテック研究連絡会議 HP <https://ftrc-kyoto.jp/about/>



京都フードテック
研究連絡会議 HP

【本報道発表に関するお問合せ】

農林水産技術センター企画連携室 室長 ^{あしかが} 足利 TEL 0771-22-0425



現場課題とものづくり技術を繋ぐ

マッチング & 交流会



令和8年

8/31^月

14:00~16:30

京都JAビル

201、202会議室

(京都府京都市南区東九条西山王町1)

プログラム

第1部 事例紹介

府内生産現場の課題に対して、現在、ものづくりの視点から取り組んでいる技術開発の事例2件を紹介いただきます。

- ① NKE株式会社「植物残渣回収装置の開発」
- ② 公益財団法人京都高度技術研究所「京地どり事前出荷選別システムのための体重推定AIの開発」

第2部 話題提供

これから技術開発を希望する府内生産現場の課題・ニーズ6件について、話題を提供いただきます。概要は裏面をご覧ください。

第3部 交流会

第2部の話題提供者と参加者の方々とのマッチングを目的とした交流会を開催します。

- ▶ 参加費 : 無料。
- ▶ 対象者 : 京都フードテック研究連絡会議の会員。

第2部 話題提供の内容

京都府農林水産技術センター 農林センター宇治茶部

●装置、設備のアイデア

覆い下茶の栽培における省力的な被覆技術及び被覆資材

●概要

近年、覆い下茶の栽培面積が増加している。そこで、省力的な栽培を実現する新たな被覆技術、高品質な茶の生産を実現するための光質選択的遮光特性を有する被覆資材が求められている。

京都府農林水産技術センター 農林センター栽培技術開発部

●装置、設備のアイデア

みず菜栽培ハウスにおける移動式灌水装置

●概要

みず菜栽培において、均一な灌水が出来ないことが生育ムラの原因となっている。ハウス内での斉一な生育を実現し、作業の効率化及び生産性の向上を達成するため、省力的にスポット灌水が可能な装置が必要。

丹後農業改良普及センター

●装置、設備のアイデア

ファームpond利用団地における灌水可能量のモニタリング及び配分システム

●概要

ファームpond利用団地において灌水を行うに当たり、残水量の可視化、遠隔操作による水栓の開閉、AIによる公平な灌水量の配分が可能なシステムが必要。

丹後農業改良普及センター

●装置、設備のアイデア

果実共同選果場におけるカイガラムシ類発見装置

●概要

台湾への果実輸出においては、植物検疫上、カイガラムシ類の付着が許されていない。そこで、選果場において短時間でカイガラムシ類が付着した果実を発見できるよう、判別補助を行うAIが必要。

中丹西農業改良普及センター

●装置、設備のアイデア

農業経営を相談できる生成AI

●概要

農業経営者は、自らの考えで意思決定しなければならない。その苦悩に寄り添う相談相手として、様々な経営事例の学習や支援情報のリサーチを自律的に進め、農業者の思考をアシストする生成AIの開発を希望する。

京都府農林水産技術センター 畜産センター

●装置、設備のアイデア

食品残渣を飼料へ利用するための細断、粉碎、加熱処理装置

●概要

中小規模の畜産農家では、近隣で発生する食品残渣等の有効活用が課題である。飼料として利用するに当たっては、裁断、粉碎、加熱処理が可能な小型の装置が必要。

マッチング後の技術開発の流れ

技術開発に向けた取組については、**京都アグリ・フードイノベーション創出事業**を活用が可能です。

取組内容と事業の活用イメージ

本日のマッチング

技術開発に向けた現場
確認、機器の試作等



**フェーズ1
を活用**

試作品の改良、実用機
の開発等



**フェーズ2
を活用**

会場アクセス



● JR京都駅 八条東口から徒歩 5分

● 駐車場はありませんので、車でお越しの際は近隣のコインパーキング等をご利用ください。

■ お問い合わせ先：京都フードテック研究連絡会議事務局（京都府農林水産技術センター企画連携室）

TEL：0771-22-0425 e-mail：ngc-kikaku@pref.kyoto.lg.jp